

日時: 3月16日(土)10:00-15:00
場所: 大妻女子大学 千代田キャンパス



大妻さくら祭り2024

大妻女子大学 3年 高橋 里緒

主催: 大妻女子大学

後援: 千代田区、大妻コタカ記念会、大妻中学高等学校、千代田区内協力大学: 共立女子大学、城西大学、上智大学、専修大学、
東京家政学院大学、東京歯科大学、二松学舎大学、日本歯科大学、日本大学、法政大学、明治大学

協賛: 千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム

目 次

巻頭あいさつ 「大妻さくら祭り 2024」に寄せて 2

千代田区長	樋口 高顕
大妻学院 理事長／大妻女子大学 学長	伊藤 正直
大妻女子大学地域連携推進センター 所長	屋敷 和子
一般財団法人大妻コタカ記念会 会長	井上 小百合

千代田区内大学との連携 4

共立女子大学／共立女子短期大学	次期学長	堀 啓二
城西大学	学長	藤野 陽三
上智大学	学長	曄道 佳明
専修大学	学長	佐々木 重人
東京家政学院大学	学長	鷹野 景子
東京歯科大学	学長	一戸 達也
二松学舎大学	副学長	高岸 直樹
日本歯科大学	生命歯学部 学部長	菊池 憲一郎
日本大学	学長	酒井 健夫
法政大学	総長	廣瀬 克哉
明治大学	学長	大六野 耕作

大妻さくら祭り 俳句大賞 10

連携協定締結団体のイベント

「丘のまちびえい」の魅力発信 北海道美瑛町	12
「ホテルスタッフから学ぶ、 テーブルナプキンのおもてなし講座」 東京ステーションホテル	13
「JAL 折り紙ヒコーキ教室」 JAL スカイ	14
「マーシャリング体験」 「ミニトーイングトラクター搭乗体験」 JAL グランドサービス	15

春休み小学生講座 16

特別講座「日本の手仕事を体験しよう!」 17

課外活動団体の出展

「パネルシアター公演」 パネルシアター部	18
「裏千家茶道のお点前披露と体験」 裏千家茶道部 和ちょぼ	18
「はじめての手話教室」 手話サークルひまわり	19
「バルーンアート体験」 バルーンアート同好会「ばろん。」	19
「手作りアクセサリー販売」 HandMade サークル「bell époque」	20
「紙コップ工作でエコを考えよう!」 環境クラブ S.O.W	20

学生食堂のご案内 21

大妻女子大学博物館 特別企画 22

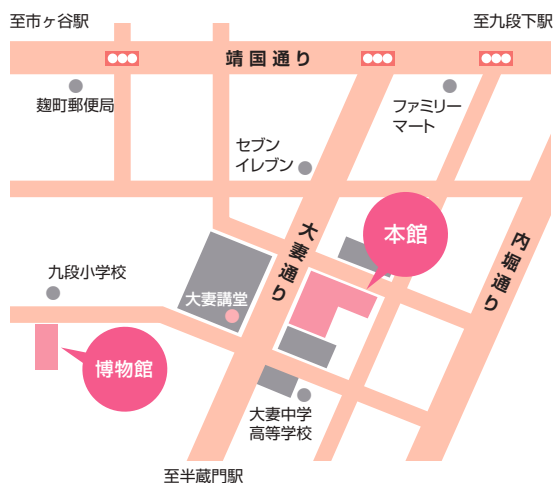
千代田学事業報告 22

地域貢献／地域連携プロジェクト報告 23

大妻嵐山みつばちプロジェクト 39

「大妻さくら祭り 2024」の楽しみ方 40

学友会 活動の紹介 41



※千代田キャンパス本館のうち、地下1階から5階までが会場です。それ以外のフロアへの立ち入りはご遠慮ください。

※大妻女子大学博物館へは上の地図を参考にご移動ください。

大妻さくら祭り 2024 タイムテーブル

会場		赤文字は要事前予約	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00			
5階	エスカレーターホール	パネル展示 千代田学・俳句大賞・ 表紙デザイン画など	終日													
		コタカキッチンあんぱん販売	終日													
	F542	「ホテルスタッフから学ぶ、 テーブルナプキンの おもてなし講座」	10:00～10:45				11:30～12:15				13:15～14:00		14:15～15:00			
	F544	「エコなりメイクに 挑戦してみよう！」							13:00～13:45				14:00～14:45			
	F536 調理実習室	「食品ロスについて 考えよう！」				11:00～11:45										
4階	エスカレーターホール	大妻嵐山みつばちプロジェクト 「みつろうキャンドルをつくろう」 各 40 分間	10:30～				11:30～				13:30～					
	E452	「日本の手仕事を体験しよう！」 ①「みそボールをつくろう」 ②「オリジナルポチ袋を作ろう」 ③「季節の和菓子をつくろう」			② 10:30～11:30				② 13:00～14:00				③ 14:15～15:00			
			① 10:00～10:45		① 11:00～11:45				① 12:45～13:30							
	F432	「紙コップ工作で エコを考えよう！」	終日													
	F442	「春休み クリエイティブ・アートラボ 『どんなものが作りたいかな?』」				11:00～11:45		12:00～12:45		13:00～13:45						
3階	コタカカフェ	地域連携推進 センター活動報告 (動画上映)	終日													
	エスカレーターホール	「裏千家茶道の お点前披露と体験」 各 30 分間	10:00～		10:45～		11:30～				12:45～		13:30～		14:15～	
	F342	「光の不思議一虹をつくろう！」	10:00～10:45				11:00～11:45				13:00～13:45					
	F332	「はじめての手話教室」 ①小学生・保護者対象 (①のみ 30 分間) ②中学生・高校生対象				① 11:00～					② 13:00～13:50		① 14:00～			
	エスカレーターホール	「手作りアクセサリ販売」	終日													
2階	コタカカフェ	「パネルシアター公演」 各 30 分間				11:15～		12:15～		13:00～						
		学食体験	終日													
	エントランス	「バルーンアート体験」	終日													
1階	エントランス外	「ミニトイングトラクター 搭乗体験」	10:00～11:30						12:15～15:00							
	コミュニティテラス	「丘のまちびえい」の魅力発信	終日													
B1階	E055	「JAL 折り紙ヒコーキ教室」				10:45～11:45					13:15～14:15					
	エスカレーターホール	「マーシャリング体験」	10:00～11:30						12:15～15:00							
	アリーナ	「千代田にプラネタリウムが やってきた！ －春の星座と星ものがたり－」 各 30 分間			10:30～				12:00～		13:00～		14:30～			
博物館	博物館	常設展「大妻コタカ・ 良馬と大妻学院の歴史」 資料解説動画 「掛軸から見た大妻の教育」	10:00～15:00（「大妻さくら祭り」終了後も 16:30 までご覧いただけます）													



千代田区長
樋口 高顕

桜の便りが届き、春の息吹を感じる季節となりました。春の風物詩「大妻さくら祭り 2024」が本年も開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから初めての「さくら祭り」となります。同時期に開催の「千代田のさくらまつり」と相互に連携し、より多くの皆さまにご来場いただき、千鳥ヶ淵の土手や緑道に咲く桜の魅力を十分にお楽しみいただけること、大変嬉しく思います。

さらに本イベントは、「地域連携プロジェクト」の報告や、小学生向けの講座など、地域の皆様にも喜んでいただけるものとなっています。

また、貴学には、ウォークアブル事業「大妻みちあそび」、地域の子どもたちも参加する「千代田クリエイティブ・アートラボ」や「みそ作りプロジェクト」の実施、三番町町会や九段小学校と連携した「アダプトフラワーロードの会」、麹町小学校での「ブックソムリエ活動」など、様々なお力添えをいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

区内大学とは、「大規模災害時における協力体制に関する基本協定」を締結していただいております。常日頃からきめ細かく連携してこそ、いざという時に迅速な対応ができるものと考えております。今後もなお一層緊密な連携をはかってまいりたいと存じます。

大妻女子大学の益々のご発展をご祈念申し上げ、巻頭のご挨拶とさせていただきます。



大妻学院 理事長
大妻女子大学 学長
伊藤 正直

千鳥ヶ淵のさくら開花にあわせた「大妻さくら祭り 2024」が開催される時候となりました。本年度は、恒例の小学生の部、中高生の部、一般の部と分かれて募集する「俳句大賞」、「千代田学事業報告」のポスター発表、「小学生講座」、「課外活動団体の出展」、「本学と協定を締結している団体による物産展」などを開催します。ご参加の上、楽しい時間を過ごしていただきますよう、お願い申し上げます。

千代田区は、東京の中心部を占め、国会議事堂や諸官庁がある政治の中核地域であるだけでなく、大手企業の本社、経団連などの経済組織が立地するオフィス街でもあり、さらには多くの大学や文化施設が集中する文教区域でもあります。こうした優れた都市環境のなかで、本学院も、新しい都市文化の担い手として、その一端を担うべく努力していく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。



大妻女子大学地域連携推進センター 所長

屋敷 和子

さくら祭りの開催にあたり、「令和6年能登半島地震」でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、ここ千鳥ヶ淵も温む頃となり春の訪れとともに桜の便りが待ち遠しい季節となりました。今年から本学も「大妻さくら祭り」に名称を変えて実施いたしますが、提携企業・自治体の皆さまのご協力をいただきながら、今までよりも更に工夫を凝らし、内容を充実させて実施いたします。中でも、「小学生講座」をはじめとするお子さまにお楽しみいただけるイベントを多数ご用意してお待ちしております。千代田区のさくらまつりを見学しながら大妻さくら祭りに足を延ばしていただき、ご家族で存分にお楽しみいただければ幸いに存じます。

また、日頃から千代田区、千代田区の各大学、地域の皆さまには、さまざまなご支援・ご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も、地域の皆さまと本学の関係を深め、地域に根ざした大学となりますよう微力ながら尽力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



一般財団法人大妻コタカ記念会 会長

井上 小百合

春の息吹とともに「大妻さくら祭り」が開催されますことをお慶び申し上げます。

今年の桜の開花はいつ頃になるのでしょうか。昨夏の異常な暑さ、暖冬といわれた冬を経て、例年よりもさらに開花が早まるのかもしれませんが。靖国通りや大妻通り、そして千鳥ヶ淵の桜が満開になったあの光景は、大妻で学んだ人たちにとって、学生時代の日々とともに懐かしい景色として、いつまでも心に残る思い出です。

大妻コタカ記念会は大妻女子大学、大妻高等学校、大妻多摩高等学校の卒業生および在学する大学生、高校生によって構成される一般財団法人です。大妻コタカの偉業を継承具現することを目的の一つに掲げ、同窓会事業はもとより、一般財団法人として広く一般の公益に資する事業を積極的に進めております。生涯学習講習会のほか文化講演会の開催もおこなっておりますので、多くの方にご参加いただけますようお待ちしております。

千代田区内大学との連携

大妻女子大学と区内 11 大学は相互に連携・協力して、それぞれが有する知的資産を地域に還元することで千代田区を維持し、発展させ、次世代に引き継いでいくことを目的に、「千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定」を締結しています。区内 11 大学からお祝いの言葉を寄せていただきました。



持続可能なまち神保町を目指して

共立女子大学 / 共立女子短期大学 次期学長 堀 啓二

今年は新年早々能登半島地震、羽田の航空機事故など暗い幕開けになりましたが、震災の復興を祈りつつ、自分達が活動するまちでできることをゆっくりじっくり進めていきたいと思います。しかし爽やかな春は訪れます。その爽やかな春にふさわしい「大妻さくら祭り」が今年も開催されると聞き誠に嬉しい限りです。

当大学が位置する神保町は、世界の中でも他に類のない程、書店や出版社が集積した特異なまちです。まちには多くの書店、古書店が軒を連ねています。店舗の多くを占める古書店は、個人経営が基本で代々地域の核としてまちの繁栄とコミュニケーションを担ってきました。現在多くの個人経営の店舗は建て替え時期に来ています。また開発が進む神保町には昔の面影を残す「看板建築」がまだ残りまちの雰囲気をつくっています。神保町が持続していくには何が必要かを明治大学と連携して検討しています。ぜひ皆様とも連携していければと思います。



連携への思いを桜花に寄せて

城西大学 学長 藤野 陽三

春暖うらかな風を感じ、心浮き立つ時期となりました。大妻女子大学「大妻さくら祭り」が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

学長として私が城西大学に参りまして、この4月で丸4年になります。昨年暮れに、学校法人城西大学の理事長に就き、学長と兼務となりました。学校法人城西大学は、埼玉県坂戸市をメインキャンパスとする城西大学、城西短期大学と、千葉県東金市に本拠を置く城西国際大学を有し、両大学とも「千代田区」紀尾井町にキャンパスの一部を置いております。城西大学は数学科の一部他 学生数 300 名程、城西国際大学は経営情報学部の一部とメディア学部を置き、2,000 名近い学生が学び舎としております。今後ともお世話になっている千代田区ならびに千代田区内大学との連携を図り、問題解決や教育・研究や交流など地域社会に貢献できるよう努力をして参りたいと思います。

千鳥ヶ淵の桜並木は、今年も人々に豊かな気持ちをもたせてさまざまな交流を育んでくれることでしょう。



大妻さくら祭りに寄せて

上智大学 学長 曄道 佳明

大妻さくら祭りの開催にあたり祝意をお伝えいたします。ご準備にあたられた皆様に感謝申し上げます。

今年は、能登半島地震など、悲しみに覆われた沈痛なスタートとなってしまいました。一日も早い被災された方々のご回復、地域の復興を願うばかりです。

日本社会では、長きに亘り、桜の花が人々を励まし続け、社会に節目を与え続けてくれました。この桜が私たちの社会に大いなる励みを与えてくれるよう、今年のさくら祭りは例年以上に大きな意味を持っていると感じます。新たな歩みを確信できる、そんな機会になればと思います。このような時こそ、千代田区内の大学間で、人の交流や場の共有が促進され、点在する大学キャンパスが区民の皆様、広くは多くの方々の憩いの場となり、知的リフレッシュの場となることを期待したいと思います。

今年のさくら祭りが、穏やかな明日への象徴的行事となりますよう心より祈念申し上げます。



国際色豊かな学び場へ

専修大学 学長 佐々木 重人

このたび、「大妻さくら祭り」が盛大に開催されると聞き、誠にうれしく存じます。心より敬意を表し、お祝い申し上げます。

千代田区内各大学との連携についてですが、大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部をはじめ、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学の5大学で設立された「千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム」（千代田区キャンパスコンソ）に、2023年11月から専修大学も加わりました。

これを契機といたしまして、上記5大学をはじめ千代田区、千代田区商工業連合会、及び千代田区内各大学との連携・協力関係を深め、国際色豊かな学び場を創出し、地域社会の課題解決と発展に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



連携活動のさらなる発展をめざして

東京家政学院大学 学長 鷹野 景子

「大妻さくら祭り」の開催を心からお慶び申し上げます。

本学では、「千代田学」の事業に取り組んでいます。「千代田区におけるSDGs達成に向けた共創的な食育推進に関する研究」においては、区内の生産者と協力した食育ツールの開発を行い、「自然災害発生時における大学を拠点とした帰宅困難者支援に関する研究」では、災害時対応の工夫について、近隣5大学との共同研究を推進しています。年頭の地震災害のニュースに接し、一刻も早い復興を願うとともに、避難所等における災害時対応についても思いを馳せました。

昨年11月には、千代田区のイベント「防災メニューグランプリ」の試食会と報告会、及び表彰式の会場として、本学のローズホールを提供させていただきました。区内の学生や一般の方のアイデアから学ぶとともに、美味しい試食を楽しみました。千代田区および区内の大学との密接な協力関係に感謝申し上げますとともに、連携活動のさらなる発展を願います。



東京歯科大学のこれから

東京歯科大学 学長 一戸 達也

東京歯科大学は、1890年に創立された高山歯科医学院を礎として、今日まで134年の間、歯科医学教育のフロントランナーとしてその役割を果たして参りました。この間、日本歯科大学生命歯学部様や日本大学歯学部様とは、同じ千代田区の歯科医学教育機関として幅広い連携体制を取りつつ、切磋琢磨して参りました。さらに2018年6月22日には、大妻女子大学様と連携交流協定を締結し、歯科医学と栄養学との連携による学生教育に取り組んでおります。超高齢社会において、口腔の健康を全身の健康に繋げ、健康寿命の延伸に寄与することは、我が国の歯科医療の極めて重要な目標です。今後は、千代田区内の各大学様の様々な学部・学科の皆様と連携させていただき、千代田区発の新しい歯科医療提供モデルと歯科医学教育モデルを発信していければと考えております。各大学の皆様には、色々のご相談させていただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。また、何なりと本学にお声をかけていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



地域内大学連携への期待

二松学舎大学 副学長 高岸 直樹

今年も千鳥ヶ淵に見事な桜が咲きました。「千代田のさくらまつり」ならびに「大妻さくら祭り」の開催をお祝い申し上げます。本学周辺におきましても、美しい桜を楽しむことができ、春の到来を感じます。

この数年、さまざまな出来事が起こり、人々の行動にも大きな変化が起きました。しかし、春になると桜が咲くように、かならず良い時期が巡ってくると多くの人々が信じて生きてきました。桜はその象徴です。

イノベーションを受けて世界が成長していくなか、ようやく日本経済も上向きとなり、社会が新社会人に求めるポテンシャルも大きく変わりつつあります。大学はこの社会のニーズに応えつつ自学の独自性も大切にしなければなりません。このため、補完しあえる他大学との連携が重要となってきます。千代田区と連携協力に関する基本協定を締結している12大学には、それぞれの特色を生かした学びがあります。千代田区内の大学連携に期待いたしております。



大妻さくら祭りに寄せて

日本歯科大学 生命歯学部長 菊池 憲一郎

千鳥ヶ淵の桜の花が咲く頃に、「大妻さくら祭り」が今年も盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、より進化した大妻さくら祭りになるのではないかと、とても楽しみに感じています。貴学のホームページを拝見しますと、俳句大賞やパンフレット表紙デザイン画の作品が募集されています。さらに、千代田学や地域貢献/連携プロジェクト報告、小学生から参加できる様々な興味深い企画が訪れる方々を楽しませてくれるようです。「千代田さくらまつり」の一環で貴学が主催される大妻さくら祭りは、千代田区内の大学連携のみならず、地域の活性化へと広がりを見せています。開催にあたり、ご準備や運営に関われます全ての皆様に厚く感謝申し上げるとともに、桜咲き誇るなか、当日は多くの皆様との交流が盛んとなりますよう祈念いたしております。



桜に思いを寄せて

日本大学 学長 酒井 健夫

令和6年元旦に、能登地方で地震が発生しました。被災された方々に衷心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く復旧・復興し、春を迎えられますことをお祈りいたします。

時の経過は早く、今年も「千代田のさくらまつり」の季節を迎え、「大妻さくら祭り」が開催されます。桜の花は、日本各地で一斉に咲いて、散り、日本人が最も好む花で、春の訪れの象徴です。西行法師も「花見にと 群れつつ人の 来るのみぞ あたら桜の とがにはありける」と詠んでいます。

国内では、野生種11種を基本に、約100種以上が自生していると言われ、桜は自然環境下で品種間交雑を起こしやすく、自然交雑で定着して、日本列島に馴染みやすい花です。

今年も大勢の人が「花見にと群れつつ」千代田区に来られ、楽しめることでしょう。同じ区内に学び舎を持つ日本大学として、「大妻さくら祭り」の成功を心からお祈り申し上げます。



大妻さくら祭りの開催にあたって

法政大学 総長 廣瀬 克哉

今年も桜の季節が巡ってきました。九段地区において、大学と地域の連携事業として定着してきた大妻さくら祭りが今年も開催されますことに、お祝い申し上げます。近接する大学連携「千代田区キャンパスコンソ」のご縁もあって、本学の教職員、学生も参加させていただけることに感謝申し上げます。

ところで、『愛は勝つ』で知られる本学出身のシンガーソングライター KAN さんが惜しくも昨年逝去されました。その作品に『桜ナイトフィーバー』という曲があります。桜の曲は世に数多ありますが、この曲は桜の樹の視点で描かれているのがユニークで、いつもこの季節になると思い出します。花見の宴の喧噪のなか、秋も冬もずっと桜の樹は変わらずここに立っているのに、この季節だけ注目されて、周囲で人が騒ぐ様子を「どうなのでしょう？ いかがなものでしょう？」と嘆き、桜だって生き物なのだから夜は静かに眠りたいとボヤキます。でも、明るく軽快で、盛り上げられる曲でもあるのです。

春を迎え気持ちも浮き立つ気分の中にありつつも、軽妙なウィットとともに、それをチクリと批評もしている、KAN さんらしい曲です。花見の行事に、大学人らしく関わるとすれば、そんな構え方がふさわしいのかも知れないかと、KAN さんを偲びながら思ったりしております。でも、だからこそ、祭りは盛況でありますよう、お祈りいたします。



地域・大学のさらなる連携強化を目指して

明治大学 学長 大六野 耕作

千鳥ヶ淵の桜が咲き始めるうらかな春を迎える頃、「千代田のさくらまつり」の一環として貴学の「大妻さくら祭り」が開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

本学は、学生が運営する「明大町づくり道場」の活動を通して、千代田区内で行われる様々な催しに参加し、地域の人々との交流・連携を深めております。「千代田のさくらまつり」においても、地域活性化に向けた実践的な活動として協力させていただいております。

「大妻さくら祭り」は、大学間連携・学生交流のひとつの核となるイベントでもあり、地域と学生との交流の場の創出に繋がっています。貴学の積極的な活動に対し、参加大学の学長として心から感謝申し上げるとともに、本学といたしましても、今後もさらなる交流を図って参りたいと考えております。

千代田区を舞台に、大学の垣根を越えた学生同士のネットワークが構築され、地域社会との連携強化に繋がることを期待しています。

結びにあたり、千代田区の一層の活性化と各大学の益々の発展を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

大妻さくら祭り 俳句大賞

大妻さくらフェスティバルのイベントの一つとして、俳句大賞を実施いたしました。今年度は「身体」・「気象」をテーマに、全国各地の幅広い年齢層の皆様から、2,556 句の作品が寄せられました。たくさんのご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、入賞した作品を発表します。

理事長・学長賞

テーマ「身体」

小学生以下の部

かかとから春の足音ついてくる

東京都千代田区 諸井 理杏

中学・高校生の部

歯を見せて笑う遠足四年ぶり

石川県金沢市 池田 飛鳥

一般の部

甘夏の少し香りて手話の指

神奈川県横浜市 肥後 佑衣

一般の部

回廊の冷えを蹴に禅の寺

愛媛県新居浜市 菅 伸明

テーマ「気象」

小学生以下の部

新六年オリオン見える？じゆく帰り

東京都文京区 早野 茉夏

一般の部

桜東風いまだ残れる悔い一つ

岡山県岡山市 土師 康生

優秀賞

テーマ「身体」

小学生以下の部

兄の眉のらりくらりと春の雲

岡山県高梁市 田村 英

手をつなぎ残り香探す金木屋

東京都文京区 吉田 眞

中学・高校生の部

口と声母にそっくり蚯蚓鳴く

岡山県高梁市 田村 豪

駆け走る小さな足跡雪の道

石川県金沢市 上岡 仁輝

暴吹雪窓に手をつき晴れを待つ

石川県金沢市 高木 梨子

一般の部

路線図を旅する指や文化の日

奈良県橿原市 伊藤 俊介

初雪に腹蹴る胎児の暖かさ

兵庫県尼崎市 多田 吉剛

ラムネ玉乾いた音の喉仏

静岡県藤枝市 大澤 定男

テーマ「気象」

小学生以下の部

外の風いっぱいだった冬の朝

東京都江戸川区 高橋 良磨

風がふくむぎわらぼうし羽根がつく

東京都文京区 今野 真知

ドア開きフワリ乗車風花と

茨城県日立市 加古 瑠莉那

中学・高校生の部

雪の峰部活の帰り見上げれば

石川県金沢市 氣谷 妃風

初雪を眺めて無表情の猫

愛知県犬山市 福田 匠翔

絵日記のページめくりし夏嵐

茨城県かすみがうら市 石井 彩音

一般の部

陽の香り母の香りの稲穂波

神奈川県小田原市 井上 靖

夕立や理科室に死のかたちある

神奈川県川崎市 下村 修

消雪の水じつと視るかじけ猫

新潟県小千谷市 大瀧 航

「丘のまちびえい」の魅力発信

北海道美瑛町の多彩な魅力をご紹介

大妻女子大学と包括連携協定を結んでいる美瑛町は、北海道のほぼ中央に位置し、自然と農業の営みによって育まれた美しい丘陵景観が広がっているまちです。その丘には農業者の苦勞と希望の結晶として豊かな農作物が実り、温泉は癒しを与え、その恵みとして貴重な地域資源が多く存在します。それら地域資源を守り、次世代に伝えていくため、「日本で最も美しい村」連合の取組や日本ジオパークに認定された「十勝岳ジオパーク」を推進しています。



白金青い池

きたあかりコロッケ

美瑛のじゃがいもでつくったホクホクで甘みのあるコロッケ。普段は美瑛選果本店でしか味わえない絶品コロッケをぜひご賞味ください！



※画像はイメージです。

美瑛小麦を使用したパン各種

高タンパクな美瑛小麦の特徴を活かした、ふっくらモチモチで風味豊かなパンはいかがでしょうか？



販売場所：コミュニティテラス

※大妻女子大学と北海道美瑛町は包括連携協定を締結しています。

ホテルスタッフから学ぶ、 テーブルナプキンのおもてなし講座

テーブルコーディネートには欠かせない「テーブルナプキン」。飾り折りのナプキンがテーブルを華やかに演出でき、同席する方へのおもてなしの気持ちが伝わる事まちがいなし！テーブルナプキンがある事でいつもの食卓がおしゃれに大変身しますよ。

東京ステーションホテルスタッフが、テーブルナプキンの素敵な折り方を説明しながら、使い方やテーブルマナーに至るまで小学生向けにわかりやすく説明いたします（もちろん大人の方にも楽しんでいただける講座です）。



会場：F542 教室

時間：10：00～10：45

11：30～12：15

13：15～14：00

14：15～15：00

東京ステーションホテル The Tokyo Station Hotel

1915年に東京駅丸の内駅舎の中に開業して以来、国内外の多くの賓客をお迎えしてきたホテル。

2003年に国指定重要文化財となった駅舎の保存・復原事業に伴い2006年から一時休館、全施設を改装し、2012年にヨーロッパクラシックを基調とした150の客室、10のレストラン＆バー、フィットネス＆スパ、宴会場など、実用性を備えた都市型ホテルとして生まれ変わりました。



東京ステーションホテル Web サイト



東京ステーションホテル YouTube チャンネル
スペシャルムービー



※大妻女子大学と東京ステーションホテルは連携・協力に関する覚書を交わしています。

JAL折り紙ヒコーキ教室

JAL折り紙ヒコーキ教室

折り紙ヒコーキを折り、実際に飛ばしてみる講座です。
小学生から大人の方までお楽しみいただけます！

3月16日(土)

1回目 10:45~11:45

2回目 13:15~14:15

各回、50名程度

**場所:大妻女子大学 千代田キャンパス
本館 E055教室**



講師:株式会社JALスカイ

※株式会社JALスカイは、大妻女子大学の協定締結団体です。

マーシャリング体験 ミニトーイングトラクター搭乗体験

マーシャリング体験

着陸後の航空機を手を持ったパドルで安全に誘導し、決められた位置に停止させるマーシャリングを体験いただきます。

会場：B1F エスカレーターホール 時間：10：00～11：30 / 12：15～15：00



ミニトーイングトラクター搭乗体験

JAL グランドサービス社員手作りの航空貨物や手荷物を運ぶコンテナをけん引するミニトーイングトラクターに乗ってみませんか？先着順でのご案内となります。

参加条件：体重 30kg 未満のお子さま

会場：エントランス（屋外） 時間：10：00～11：30 / 12：15～15：00



株式会社 JAL グランドサービス

『あたり前に飛行機が飛ぶ
そこに、私たちのすべてがつまっている。』

当社は安全で快適な空の旅を支えるプロフェッショナルとして、航空機ご利用のお客さまのお手荷物及び貨物の取り扱いはもとより、航空機の誘導、客室や機体外部のクリーニング、そして国賓・公賓等 VIP の特別便をハンドリングするなど、地上支援業務を担っております。JAL グループは、安全を大前提に、「定時性」、「快適性」、「利便性」の向上に取り組んでいます。

Handling the future with your own hands あなたの未来を、その手でつかめ。



春休み小学生講座

●「春休みクリエイティブ・アトラボ『どんなものが作りたいかな?』」

講師：金田卓也（家政学部児童学科 教授）

内容：子どもたちの自由なアイデアを形にするのをサポートし、創造性を育てます。

会場：F442 教室

時間：11:00～11:45 / 12:00～12:45 / 13:00～13:45

●「光の不思議－虹をつくろう！」

講師：金美京（家政学部児童学科 常勤特任講師）

内容：なぜ雨上がりには虹が見えるかな？ ガラス虹や分光器作りを通して光の不思議について探っていきます。

会場：F342 教室

時間：10:00～10:45 / 11:00～11:45 / 13:00～13:45

●「食品ロスについて考えよう！」

講師：堀口美恵子（短期大学部家政科食物栄養専攻 教授）

内容：食品ロスに関するミニ講座です。食べ物クイズ、サンチュ・米粉・糠などを活用したレシピの試食を行います。※サンチュ粉末入り米粉スコーンの試食を予定しています。材料には、卵、牛乳、乳製品（バター・ヨーグルト）、アーモンド、カボチャ、蜂蜜、米粉、サンチュ粉末、キビ砂糖、米油、片栗粉、塩などを用います。食物アレルギーのある方は、参加をご遠慮いただきます様、お願い申し上げます。

会場：F536 教室

時間：11:00～11:45

●「エコなリメイクに挑戦してみよう！」

講師：堀口美恵子（短期大学部家政科食物栄養専攻 教授）

内容：リンゴの皮、ミカンの皮、クチナシの実、藍の葉、千代田区の桜などで染色した布や毛糸および、捨てるにはもったいない生地やボタンを活用したリメイク体験ができます。

会場：F544 教室

時間：13:00～13:45 / 14:00～14:45

●「千代田にプラネタリウムがやってきた!－春の星座と星ものがたり－」

講師：木村かおる（家政学部児童学科 常勤特任准教授）

内容：春の星座と星について解説を行います。

会場：地下1階アリーナ

時間：10:30～11:00 / 12:00～12:30 / 13:00～13:30 / 14:30～15:00



特別講座「日本の手仕事を体験しよう!」

会場：E452 教室

●「みそボールをつくろう」

講師：井上 祐子（管理栄養士・国際中医薬膳師）

内容：日本の伝統調味料『みそ』にお好みの食材やスパイスを混ぜ込んで、オリジナルのみそボールをつくりまします。会場で試飲していただき、お味の感想を語らいながらゆるやかなひと時を過ごしませんか？

時間：10：00～10：45／11：00～11：45／12：45～13：30



●「水引の基本結び『あわじ結び』を結んでオリジナルポチ袋を作ろう」



講師：舟木 香織（水引作家）

内容：折り紙でポチ袋を折り、お好きな水引を選んであわじ結びを結びます。水引についての歴史や材料の話などをまとめたプリントもお渡しします。（写真は講師の舟木先生の作品）

時間：10：30～11：30／13：00～14：00

●「季節の和菓子をつくろう」

講師：安田 由佳子（和菓子職人）

内容：ホッとのお茶のひと時を、手作り和菓子で楽しんでもらえたいと思います。餡子のしっとりとした手触りも、触れているだけで心地よくて。その季節が今年もやってきた事を喜びながら、和菓子づくりをしませんか。

時間：14：15～15：00



<講師紹介>

「みそボールをつくろう」

講師：井上 祐子

学校栄養士として研鑽後、2019年よりフリーランスに転身。

給食につながる食育や、親子クッキングなど食と栄養の楽しさとおもしろさの発信に努める。そのほか、飲食店のメニュー開発や、衛生管理を担う業務、企業様の商品開発や監修、専門学校の非常勤講師などを担っている。「管理栄養士としてできること」を幅広い視野で捉えて活動をする一方、薬膳師として、日々の食から楽しむ健康の情報を紹介している。



「水引の基本結び『あわじ結び』を結んでオリジナルポチ袋を作ろう」

講師：舟木 香織

2010年 結婚を機に水引を習い始め、2015年より「喜結」として活動を開始する。

文字通り喜びを結ぶ水引アーティストとして古典に縛られない自由な発想でパネル作品から立体まで制作。伝統の技法を守りつつ、日本独特の素材、水引の概念を覆す大胆さや他文化との融合を作品に込める。海外文化交流（国際交流基金／南インド）、企画展 日本選展－現代アートと伝統（第二期）（フランス）、水引セッション開催（オンライン／国際交流基金カイロ／エジプト主催）、デモンストレーション（LOUIS VUITTON 銀座並木通り店、神戸店）など、日本にとどまらず水引の魅力と作品を世界に発信している。



「季節の和菓子をつくろう」

講師：安田 由佳子

東京都生まれ。学生時代よりケータリング会社 Party Design に携わる。大学卒業後、ジャパンフードコーディネータースクール、FFCC（フランス料理文化センター）にて学び、貝印、フードコーディネーターなどの仕事を勤め上げ、2016年より独立して活動。和菓子を金塚晴子氏に師事、北京料理をウー・ウェン氏に師事。2012年より料理教室エプロンメモ主宰。2014年より和菓子教室ももとせ主宰、海外や英語での教室開催、茶席への菓子製作他、日本の食文化普及のため活動の幅を広げる。



課外活動団体の出展

パネルシアター公演 パネルシアター部

私たちパネルシアター部は主に保育園や幼稚園、児童館、子育て支援センターなどからの公演依頼を受け、定期的にパネルシアター公演を行っています。

また「全員で歌やダンスを踊りながら、みている人も一緒に楽しめるパネルシアター」を目指し、パネルシアターや振り付け、歌や手遊びなど日々練習に励んでいます。公演での子どもたちの楽しんでくれる姿や笑顔を見ると、とても幸せな気持ちになり元気をもらうことができます。

パネルシアターに馴染みがない方もたくさんいると思いますがみなさんが一度は耳にしたことのある歌、見たことのある振り付けが登場すると思いますので、ぜひ楽しんでいただけると嬉しいです。



会場：学生食堂 kotacafé

時間：① 11:15～11:45

② 12:15～12:45

③ 13:00～13:30

裏千家茶道のお点前披露と体験 裏千家茶道部 和ちよぼ

私たち裏千家茶道部和ちよぼは、文化祭や学外でのお茶会のために日々お稽古に取り組んでいます。大妻さくら祭りでは日本文化をより身近に感じていただきたいと考え、茶道体験コーナーを出展いたします。御園棚を用いたお点前のデモンストラーションと合わせ、お菓子のいただき方や簡単なお道具の解説もいたします。お客様自身でお茶を点てる体験も予定しています。



事前予約の席と合わせて、当日券もお売りしています。お気軽にご参加ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

会場：3階エスカレーターホール

時間：① 10:00～10:30 ② 10:45～11:15 ③ 11:30～12:00

④ 12:45～13:15 ⑤ 13:30～14:00 ⑥ 14:15～14:45

席料：300円

はじめての手話教室 手話サークルひまわり

手話サークルひまわりは、週一回講師の方をお招きして、活動を行っております。初級と中級に分かれて手話を学ぶため、自分にあったレベルで手話を学ぶことができます。また、学期末など、定期的に聴覚障害をお持ちの方との交流会を行い、手話でお話をしてくださったり、手話のゲーム

と一緒に遊んだりしています。ボランティアも積極的に行い、中学校で生徒を対象とした手話教室と講演会も行っています。最近では、ドラマやアニメなどで度々話題になっていることもあり、それがきっかけで入部を決めた方もいらっしゃいます。是非私たちと一緒に手話を始めてみませんか？見学や入部のご連絡をお待ちしております。



会場：F332 教室

時間：11：00～11：30（小学生・保護者対象）

13：00～13：50（中学生・高校生対象）

14：00～14：30（小学生・保護者対象）

バルーンアート体験 バルーンアート同好会「ぱろん。」

私たちは主にオープンキャンパスの装飾や文化祭の装飾、スポーツフェスティバルの装飾などの学内活動を行っています。また地域のイベントに参加し、子供たちにバルーンアートを教えたり、バルーンアートの配布をするなどの学外活動も行っています。写真は今年度の文化祭の展示の様子です。今年度はマリオをテーマにマリオやルイージ、ヨッシーなどを作り、展示しました。また犬やうさぎ、くま、剣を作り、子供たちへの配布も行いました。バルーンアートを通して子供たちとコミュニケーションを取ることができ、とても楽しく活動しています。今回の「大妻さくら祭り 2024」では、装飾をしました。ミニ講座も開催する予定ですのでぜひ、バルーンアートにも注目してみてください。



会場：1 階エントランス

時間：終日

手作りアクセサリー販売

Hand Madeサークル「belle époque」

【普段の活動】

私たちハンドメイドサークル「belle époque」は各自が得意な分野を活かしてアクセサリーなどの作品を制作しています。ピアスやイヤリングはもちろん、ブローチ・ヘアアクセサリや裁縫を活かしたものなどを空き時間や授業終わりに作成し、文化祭等のイベントで販売・展示しております。

【大妻さくら祭り当日】

今回のさくら祭りでも、本館 2 階エスカレーターホールにてアクセサリーをはじめとするハンドメイド作品を販売しています。お気に入りの作品を見つけてみてください♪値段は 300 円からご用意がありますので、是非お気軽にお立ち寄りください。

会場：2 階エスカレーターホール

時間：終日



紙コップ工作でエコを考えよう!

環境クラブS.O.W

私たちはレイチェル・カーソンのセンス・オブ・ワンダー（自然に触れその美しさなどに感動する力）を掲げて活動しています。普段は、コタカフェテラスにある紫陽花のお手入れ、千鳥ヶ淵で行われるさくらまつりのボランティア、自然と触れ合うフィールドワークなどを行っています。去年の文化祭では自分達で育てたバジルをソースとして使ったホットドッグを提供しました。いつもアットホームで温かい雰囲気の中活動しています。

大妻さくら祭り当日は、紙コップのリサイクル工作体験を用意しています。ハーブティーを飲んで使い終わった後の紙コップを再利用し、あなたも環境保全に貢献しましょう！

ハーブティーのお供にお菓子も用意してお待ちしています！

会場：F432 教室

時間：終日



学生食堂のご案内

学生食堂 kotacafé (コタカフェ)

学食体験 特別メニューを提供します。

ぜひ、ご賞味ください！

場所：本館 F 棟 2 階

時間：10：00～15：00



*写真はイメージです。
店内の券売機で食券を
お買い求めください。

KOTAKA KITCHEN (コタカキッチン) 焼きたてパンの販売



販売場所：5 階エスカレーターホール

時間：10：00～15：00

●おおつま はいっぷ あんぱん 240 円 (税込み)

●パンの詰め合わせ (4 個入り) 600 円 (税込み)

※詰め合わせは、「おおつま はいっぷ あんぱん」のほか、
3 個 (さくらのクッキーを含む) 入り

※写真は「おおつま はいっぷ あんぱん」



大学校舎地下 1 階アトリウムにある「KOTAKA KITCHEN」(写真左) が、特別に 5 階エスカレーターホールで出張販売します。

大妻女子大学博物館 特別企画

「大妻さくら祭り」終了後も
16:30 まで臨時開館します。

常設展のほか、大妻コタカ先生
が晩年を過ごした居室の一部をご
覧いただけます。また、居宅全体
の復元模型も展示しています。



大妻コタカ旧居室（移築復元）



大妻コタカ旧居宅模型



資料解説動画「掛軸から見た大妻の教育」を本日より公開します。
大妻女子大学博物館では、大妻学院に伝わった掛軸を約 100 点
所蔵しています。その中から、明治～昭和時代に作成された掛軸
を紹介します。

これらの掛軸には、大妻学院の校訓や、教育的な標語などが記
されています。大妻の学生・生徒たちは、折に触れて掛軸に記された言葉を見て、あるいは読んで、
大妻の教えを身につけていったものと思われます。

この解説動画では、大妻の学生・生徒たちを教導いていった掛軸資料を紹介し
ます。

※QRコード、または博物館ホームページからご覧いただけます。



大妻女子大学博物館



大妻女子大学博物館は、学院創立者の大妻コタカ・良馬（コ
タカの夫）・大妻学院に関する資料などを収集し、調査研究
と展示公開を行っています。また、博物館学芸員課程履修
者を館園実習生として受け入れ、将来の学芸員の養成も行っ
ています。

博物館は、地域に根ざした生涯学習の場として、日々の
調査研究の成果を情報発信しています。

千代田学事業報告

千代田学とは、区内の大学が、千代田区に関する様々な事象を一つの学問として学ぶもので、
平成 16（2004）年度から始まりました。千代田区は審査のうえ、その調査・研究に対して経費
の一部を助成しています。

「大妻さくら祭り 2024」では、令和 5（2023）年度の千代田学の成果を、本館 E 棟 5 階エスカレー
ターホールでパネル展示いたします。

千代田区ホームページ「千代田学」調査・研究実績報告書



地域貢献プロジェクト報告



広く地域の皆さまへ大妻女子大学の教育と研究成果を還元し、皆さまの多様な学習ニーズに応えるとともに地域社会の教育、学術、文化の発展に貢献する活動の推進を図ることを目的として、平成 26 年度からスタートしました。今年度は 4 件のプロジェクトが採択されています。

地域連携プロジェクト報告

大妻女子大学では、学生の主体性や自立心が身に付く地域連携活動の一層の推進と発展を図ることを目的として、平成 25 年度に「地域連携プロジェクト」を創設しました。「地域社会との連携を活性化するとともに、学生の教育に資する活動」をテーマに、今年度は 12 件のプロジェクトが採択されています。



親子で楽しくパン作り教室

代表者：家政学部 食物学科 教授 岩瀬 靖彦

現代の子育て世帯は、両親の共働きによる影響などで、家庭における食事作りの時間が短縮化され、外食や中食、総菜、レトルト食品、冷凍食品などの利用頻度が年々増加傾向にある。

そのため親から子への食事作りの伝承が減り、併せて親子の会話も減りがちとなっている現状が伺える。

一方で食事のスタイルは、朝食は手間のかかる和食から、手軽に準備ができる洋食が主流となりつつある。また、洋食スタイルの食事では、主食が米に代わりパンが一般的となっているが、地域のスーパーやパン屋、ネットで購入するケースが大勢を占めていることから、益々、家庭における食事作りが簡素化し食事作りの伝承が減り、親子の会話も減る一方であることが伺える。

このような現代の子育て世帯の状況を支援することを目的として、また、ご家庭でも手軽にパン作りができることを理解していただくために、本学でサークル活動をしているパン調理学研究会が主体となり、パン作りの指導を専門とし、実績のあるパン技術研究所の並木利文先生を講師として招聘し、親子で楽しく手ごねによるパン作り教室を開催した。

「親子で楽しくパン作り教室」は参加する児の年齢で3回に分けて、1回あたりの募集は6家族とし、1家族最大4人までとして参加者を募集した。

第1回は小学校就学前の3～6歳の子供を持つご家庭、第2回は小学校1～3年生の子供を持つご家庭、第3回は4～6年生の子供を持つご家庭とした。第1・2回は本学の調理室では調理台に身長が合わないことから、フロアマットとローテーブルをレンタルし、子供目線で実施した。第3回は調理実習室において実施した。参加者された保護者は、子供たちと協力し手捏ねパンを楽しく作っていた。また、手軽に手作りでパンが作れることに驚き、焼きあがりのパンを試食し美味しさに感動していた。

講師の並木先生からは、「今回、バターロール配合のパンを手捏ねで作りました。パン生地を初めて捏ねる方が多かったと思いますが、しっかり捏ねることができました。パンは発酵を伴うので時間がかかりましたが、親子でいっしょにハムマヨロールやウインナーパンなどふっくらパンをつくるのが出来ました。焼き上がったばかりのパンを美味しく食べている子供の笑顔が嬉しかったです。」との感想をお寄せいただきました。

また、食材の発注からサポートしてもらった食物学科の阿部助手、山下助手からは、助手として運営も含めて参加させていただきました。未就学児から小学校高学年まで、様々な年齢のお子さんとそのご家族に参加していただき、どの日程も、教室の名前通り「親子で楽しくパン作り」をされておりました。参加された親御様より、「家でまとまった時間をとって調理をさせることは難しいので、とても良い機会となりました。」「手作りでこんなにおいしいパンが作れるなんて感激でした。家でも作ってみます。」などと直接感想を伝えてくださり、とても嬉しかったです。来年度も地域貢献プロジェクトを通して、人々のつながりや、地域活性化につながるよう、助手の立場としてサポートしていきたいです。この度は素敵な教室を開催してくださり、ありがとうございました。との感想が寄せられた。

中心となって「親子で楽しくパン作り教室」をサポートしてもらった本学のパン調理学研究会からは、「地域の方と交流するという機会はあまりない為、とても貴重な経験になりました。また、“パン作り”を通しての交流であったため楽しく参加することが出来ました。」との感想が寄せられた。

少しでも本学の地域貢献プロジェクトに貢献できていれば幸いです。



健康への食意識向上とがんの食を支える 「食べて・動いて・整える～自分に恋して～」の取り組み

代表者：家政学部 食物学科 教授 川口 美喜子

大妻女子大学職員・学生を対象に健康や予防に不安を感じている方、特に、学内で相談場所のない「がん」の予防と「がん」と共に生活をしている方々と家族と知人に食と運動の機会を提案するイベントです。健康予防とがんについての専門的な活動をしている方々がサポートします。食べること・動くことで体調を整え～自分に恋する～あなたになれるように支えることを目的として活動しています。

活動の内容



1. がんの予防とがん向きあう情報誌

お困りごと相談 学内健康のこぼれ話 を担当者がお答えしています。

2. ヨガの教室 終業後の時間に 45 分間実施

3. 体に優しい簡単メニュー（スムージー、スープ）のデモンストレーションと提供

メニューの作り方などの冊子やパンフレットも配布

現場にて活動が続いている専門生の高い多職種が、がん相談・がん食事と栄養相談・ちいさなヨガ・体に優しいメニューを担当

岩城 典子 看護師 認定 NPO 法人マギーズ東京 がんのお困り相談

佐川 まさの 管理栄養士 東京女子医科大学付属足立医療センター
健康な食事についてのお困り相談

セティ 秀子 ヨガ講師 ラクシミイサンガ ヨガの会 ヨガ教室開催

川口 美喜子 管理栄養士 大妻女子大学 身体に優しい簡単調理提供

小学校の読書活動推進への貢献を図る 学生ブックソムリエの展開

代表者：家政学部 児童学科 教授 樺山 敏郎



プロジェクトの概要

本プロジェクトは、本学家政学部児童学科児童教育専攻の学生（2年次中心）が千代田区立麹町小学校の読書活動の推進に貢献しようとするものである。読書の秋という時機を捉えて同小学校を訪問し、学生がブックソムリエとなって、児童（第1・2・3学年）に対して本の紹介や推薦を行う。

【プロジェクトの目的】

児童の読書活動を活性化することは、児童自身の在り方や児童を取り巻くヒト・コト・モノに対する新たな知見を獲得し、これまでの見方や考え方を問い直すとともに、豊かな感性や情操を養うことにつながる。小学校（中学校）の教員を目指す本学科児童教育専攻の学生にとっても、それらは同様であり、児童の前に立って“ブックソムリエ”となり、読書のよさや醍醐味を共有する。

【プロジェクトの内容】



読書の秋という時機を捉えて千代田区立麹町小学校を訪問し、学生がブックソムリエとなり、児童に対して本の紹介や推薦を行う。“ブックソムリエ”という用語は、一般化されてはいない。代表者が独自にネーミングしたもので、文字通り、本の紹介・推薦する活動である。単に本の粗筋や感想を伝えるだけでなく、相手とやり取りしながら、紹介・推薦する本の世界に巻き込み、相手が“読んでみたい”と思うように誘う

活動である。取り上げる本については、小学校国語教科書の文学的教材（昔話、民話、伝承、物語、ファンタジー、詩など）が書籍化（絵本化）されたもの、併せて学生自身がこれまでの読書履歴から小学生にとって教育的価値が高いとされる本や絵本などを取り上げる。

本プロジェクトにはこんな価値があります

小学校（中学校）の教員を目指す本学科児童教育専攻の学生が実際に小学校の現場を訪れ、読書のよさや醍醐味を言葉で伝えることにより、その価値や意義を児童と共有する意義は大きい。児童の前に立って活動するための準備の大切さ、活動を効率的に運んでいく難しさを実感できる貴重な機会、そして、教科書のみならず本と向き合うことの大切さを実感する機会にもなっている。

和装振興プロジェクト ～伝えよう！和服の魅力～

代表者：家政学部 被服学科 教授 阿部 栄子

【プロジェクトの目的】

本プロジェクトは、この活動を通して「きもの」を日本文化としてとらえ、繊細で卓越した職人の伝統的な染織技術、きものコーディネートについての理解を深め、和服の魅力を広く地域の方々へ伝えるようになっていくことを目的に実施しています。

【プロジェクトの概要と実施効果】

これまでに、本学被服学科における卒業研究（和服製作）は、優れた学生作品として選定、公開展示を依頼されてきました（日本橋（東京・COREDO 室町 2・三井ホール）、および東京国際フォーラム等）。

令和 5 年度は、和装きもの 2 点（婚礼衣装；比翼仕立ての引振り袖、比翼仕立ての黒留袖）が選定され、今回で 5 回目を迎えました。これまでと同様、これらの作品展示の実施に向けた計画と作品展示、着装コーディネートを本プロジェクトの学生が担当するとともに、展示期間中の解説を担当しました（一般展示公開：令和 5 年 11 月 4・5 日、東京国際フォーラム E1 ホール）。また、今年度は本開催に向けての展示企画・立案の段階から参画し、随所でこれまでの学びを活かすことができた有意義なプロジェクトとなりました。

このような開催を重ねるごとに、作品の展示方法の向上だけでなく、確実に学生の学びへの士気が深まっていることが嬉しいです。参加した学生全員がこれらの実施を通して、日本文化への理解が更に深まったことはとても意義深いことです。また、この活動を通してプロジェクトの目的でもある「きもの（和服）」を多くの若い人たちが気軽に楽しめる衣服として、身近に捉えられるようになってきていること、製作・着装を含めた実技・実践力の向上、人々の通過儀礼をも解説指導できる本格的なプロジェクトチームとして成長していることが実感できた実施でした。

今後も、本学のこのような学びは、大切にしつつ、引き続き、教育・研究に励みたいと思います。



展示の様子
(於 東京国際フォーラム E ホール)



展示準備中の様子



実施ポスター



北海道美瑛町の公立学校の 児童・生徒への教育支援

代表者：家政学部 児童学科 教授 石井 雅幸

目的

2022 年度包括連携協定を結んだ北海道美瑛町との Win-Win の関係を創り上げていくことです。その結果、地域振興、女子大学の魅力発信という双方が抱えている課題解決に近づくことを目的にしています。

内容

9 月と 2 月に北海道美瑛町に行った 6 名の学生が、町内にある 5 つの小学校と 2 つの中学校での教育活動支援を行いました。また、農福連携事業に参加して参加者の皆さんとかぼちゃの収穫等を行いました。さらに、美瑛町の主催する重要なイベントである 9 月のセンチュリーライドや 2 月の宮様国際スキーマラソンを地元の方々と共に支援する活動を行いました。10 月には、千代田校で行われた本学学園祭にて、学生と美瑛町の役場の皆さんが美瑛町の紹介や本事業の活動の成果を発表しました。

今後

次年度も、本学の学生が美瑛町内の学校教育活動に入り学習支援を行ったり、学校生活指導上の支援を要する児童・生徒への支援を行ったりする活動を行う予定で準備を進めています。また、全学共通科目 CDP の中で美瑛町の提案に取り組む授業を複数回行ってきています。この取り組みを通して、学生に地域振興への関心を高める試みを行っています。さらに、本さくら祭りや学園祭を通して美瑛町のよさを本学の地元千代田区民の方々に広報していきたいとも考えています。最後に、今年度から、これまでに美瑛町とのかかわりに関わった学生が美瑛町の公立小学校の教員となりました。以上のような形で都市部の女子大生が地域の関係人口となることを志向する模索を行っていきたいです。



農福連携での
収穫作業の様子

プロジェクト構成員：教授 樺山 敏郎、教授 澤井 陽介、准教授 厚東 芳樹、専任講師 大谷 洋貴、美瑛町教育委員会 管理課 課長 梶原 祐治、美瑛町教育委員会 管理課 参事 目良 久美、美瑛町まちづくり推進課 課長 観音 太郎、家政学部 児童学科 児童教育専攻学生 3 年 上野 歩果、吉澤 里佳、吉田 杏沙夏、高橋 春薫、清武 桜、長谷 衿奈、2 年 岡元 さやか、杉崎 こころ、1 年 日向 真由子

CHIYODA Creative ART Lab for Children 千代田クリエイティブ・アトラボ

代表者：家政学部 児童学科 教授 金田 卓也

子どもたちの自由な発想と想像力を大切にしながら、作りたいもののアイデアを具体的な形に実現するための場（アトラボ）を大学で開催しています。参加している子どもたちにとって大学に来るというのもとても貴重な体験になっているようです。今年の活動の中から2つの作品を紹介します。

< パネルシアターを用いたストーリーメイキング >

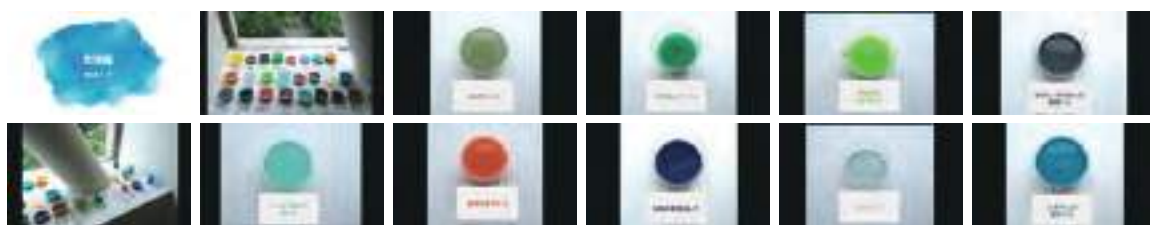
昨年から継続してストーリーメイキングに取り組んでいます。蛍光絵の具で彩色した不織布で切り絵をつくり、出来た絵人形をパネル板に貼ったり、配置を変えたり組み合わせたりして、パネルシアターを用いてストーリーを生み出していきます。今年度は、子どもが生み出したストーリーを子ども自身が一場面ごとに撮影し、パソコンで文字を書き入れ、絵本づくりを行いました。



< 色の図鑑 イロペディア >

5歳児、小学1年生、小学6年生と色水遊びを行ったことを機に、小学6年生の色水遊びは大きく発展し、オリジナルの色に名前をつけて色図鑑を作る活動が継続中です。現在約50色が図鑑に収録されています。たとえば、「カメムシの目玉いろ」や「微生物のため息いろ」「後悔の電磁波色」といったとてもユニークな色名もありました。

院生スタッフは、参加者が自由に表現できる素材と場を提供するとともに、子どもの発想を受け止めたり、技法のアドバイスをしたりしながら、共に表現のプロセスを楽しむ存在として関わっています。



プロジェクト構成員：家政学部 児童学科 教授 石井 雅幸、短期大学部 家政科 教授 堀口 美恵子
大学院保育・教育学専修 佐藤 牧子・松家 麻記子、家政学部 児童学科 金田ゼミ 3・4年生

少子化地域の行政との協働による 保育の魅力・情報を保護者に伝えるプロジェクト

代表者：家政学部 児童学科 准教授 石井 章仁

子どもの数が減少している昨今、人口減少が緩やかな都市部と、急激な減少を呈している地方と大きく分かれている。これからの保育を考える時に、この「人口減少地域」において、“地域のインフラ”としての保育や子育て支援をどうするかは、社会的課題の1つである。

今回、協働プロジェクトを行う東金市は千葉県の東部沿岸付近に位置しており、近年少子化傾向が顕著である。市では、公私立の幼稚園・保育園があるが、認定こども園化の方向にシフトしてきている。一昨年、本プロジェクトで「とうがねの園どうかね」という冊子を作成し、保護者や地域の子育て家庭に配布していただき、市のHPでも紹介されている。

本プロジェクトに参加した学生は、市の保育や保育行政に関する取り組みを理解の上、2023年9月～12月の間に3回、公立保育所・こども園に赴いた。学生は、保育の魅力取材し、地域の子育て家庭などに伝えるための媒体を作成する。保育の質が求められている現在、園で行っている実践のよさや子どもの育ちを保護者や地域の子育て家庭にどう伝えるか、「伝えるスキル」を学生が培うことが本プロジェクトのねらいである。

【取材の内容】



○9月1日、9月11日（第1回取材）；学生が各園を訪問し、午前の保育を観察し、写真撮影・インタビューをした。

○12月14日（第2回取材）；学生が各園を訪問し、午前の保育を観察し、写真撮影・インタビューをした。また、次年度新規に開園する園の園長にインタビューを行った。

○12月27日（第3回取材）；学生が各園を訪問し、午前の保育を観察し、写真撮影・インタビューをした。

一昨年作成した冊子「とうがねの園どうかね」（東金市）を参考に、カラー16ページの冊子を作成する予定。

全ての工程を学生主体で行い、写真を多く使うというコンセプトを決め、取材と編集を行った。

冊子の完成後、3月に市への贈呈を行う予定である。



アダプトフラワーロードの会との地域美化活動 ー活動時の安全管理の整備を中心にー

代表者：家政学部 児童学科 准教授 厚東 芳樹

【プロジェクトの目的】

「三番町アダプトフラワーロードの会」と呼ばれる本活動は、三番町の道に花を植え付け管理する取り組みである。この取り組みには、千代田区と三番町町会、三番町会に関係する企業・団体、大妻学院、千代田区立九段小学校を中核に、ジョージ・ケリング氏が提唱した「窓割れ理論」を一つの根拠に実施している。今年度は、とりわけ夏場など熱中症等のリスクが高い中での活動時における安全管理の仕組み創りに取り組んでいる。具体的には、活動備品（ジョウロ）の数を増やし、短時間で花壇の管理等の活動を終わることが可能なようにした。なお、活動時のスムーズな情報伝達の方法を整備し早急な対応が求められる場面が、今年度も認められた。具体的には、活動中に体調を崩す学生が存在していたり、活動状況が分からず広い範囲を互いに走り回る状況にあったなど、情報伝達が上手くいかなかった。これらについては、今後の検討課題である。

【プロジェクト「フラワーロード活動」の主な取り組み内容】

- 5月17日 18時から、九段小学校にて 2023 年度第 1 回計画委員会を実施
- 6月15日 アダプトフラワーロード「地域全体の会（春の部）」のための準備を実施
- 6月22日 アダプトフラワーロード「地域全体の会（春の部）」を実施
- 週3日のペースで、水やり活動および清掃活動を実施
- 10月10日 18時から、九段小学校にて 2023 年度第 2 回計画委員会を実施
- 11月9日 アダプトフラワーロード「地域全体の会（秋の部）」のための準備を実施
- 11月16日 アダプトフラワーロード「地域全体の会（秋の部）」を実施
- 週3日のペースで、水やり活動および清掃活動を実施

【プロジェクトの成果】

例年同様、多くの地域の方より「街を綺麗にしてくれてありがとう」「いつも頑張ってくれて感謝してます」などといった声かけを頂くことができている。また、今年度はジョウロの数を増加できたことから、夏場の炎天下での作業時間を効率化することが可能となり、通常の水やり作業等の活動時間を大幅に短縮できた。これにより、日常的に管理作業にあたる学生達の健康面への安全配慮は進んだものとする。なお、今年度は九段幼稚園の園児たちとも合同で花植活動を実施することもできた。



里地・里山活性化プロジェクト ～都市と地方を環境教育で結ぶ～

代表者：家政学部 ライフデザイン学科 教授 甲野 毅

【目的】

全国で耕作放棄地が増加し、また人の手により管理されるべき森林が放棄され、その結果、里地・里山が荒廃している。また現在の子供たちは自然と触れ合う機会が減少しており、自然との距離が開いている状態にあると言える。そこでこれらの問題を解決するために、私達が実施することは、実際に耕作放棄地や森林に手を入れ、農産物を栽培し管理することで里地・里山を良好にすること、またその現状を都市住民に伝え関心を喚起すること、さらに都市に住む子供達に自然と触れ合う環境教育の機会を提供することである。

【活動内容】

里地・里山での活動では、環境教育プログラムに使用できる可能性のあるハーブ類、サツマイモや果樹のブドウを NPO 法人が北杜市を通して借りている耕作放棄地で、学生が栽培した。これらの管理は草刈り、施肥、灌水、収穫、獣害対策など多岐にわたるので、地域住民の協力を得ながら行った。また同時に耕作放棄地を活用した地域活性化プランを考案し、地域住民に提案することを通し、学生の課題解決能力の向上を図った。

都市での活動では、行政と協働して立川市の環境イベントに参加し、また立川市では学生独自の環境教育プログラムを実施した。そこでは耕作放棄地から産出された農産物や森林をテーマにした環境教育プログラムを企画、実施した。また学園祭では、里地・里山の現状また地域を活性化させるためのプランを、来訪者に発表し、都市住民の問題への関心の向上を図った。

【結果】

立川市環境イベントでは、60 名の子供達に里山から排出される間伐材の利用促進を図る体験をしてもらった。自然体験教育プログラムでは、都市公園を 4 つのゾーンに分け、20 名の子供達に 4 種類の自然体験教育を実施することができた。そして大妻祭では、教室に里地・里山を出現させる演出をし、100 名の来訪者に里地・里山を体感するプログラムを実施した。

これらの活動の効果の第 1 は、耕作放棄地が継続管理されることで新たな地域環境問題の発生が抑制された。また学生による地域活性化プランの提案が、地域住民に良いアイデアとなる可能性があった。第 2 に、子供への環境教育を行うことで、子供達の成長に良い効果を与えた。また成人にも里地・里山の現状を伝えることが出来、関心を喚起することができた。第 3 に、学生自身が主体となって行うことで、企画、実践力や課題解決能力を身につけることができた。



立川市環境イベント



大妻大学祭



環境教育プログラム

子どもと緑が育つ番町・九段のまちづくり提案

代表者：社会情報学部 社会情報学科 環境情報学専攻 教授 木下 勇

千代田キャンパスの足元の番町・九段地区はマンション建設ラッシュにより、子育て世帯が増えています。しかし、公園も少なく、通りは車交通が主で、子どもが遊び、育つ環境にないという課題があります。子育て中の母親からのそんな相談を受けて、2022年にゼミ実習課題で子育ての観点からのまちづくり提案に取り組みました。提案は東郷公園を核に、地域の公開空地のネットワークを築いて自治会、企業、教育機関が連携してマネジメントするというものでした。

2023年7月にE棟とH棟の間で大妻みちあそびが開催された時にその展示をしました。提案は好評で、このような道遊びをもっと行なってほしいという声があがり、12月2日にクリスマスマルシェとして開催することを企画しました。

あまり車交通が多くない道を子どもたちの遊びの広場に、そして学生、教員、地域の方々が触れ合う場へと一つのプレイスメイキングの試みです。学生、教員、関心を寄せる地域の団体や個人で集まり実行委員会を組織して準備してきました（実行委員長は3年生の川島朋恵さん）。

おかげさまで17の団体が参加し、当日は延べ500人を超える人たちで賑わいました。道は子どもたちの木工など手作りや遊びの広場、両脇にいろいろなお店や体験の出し物が並び、道の風景がガラリと変わりました。「こんなにも子どもが多く集まっているのが楽しい」「親も子も楽しめる」などの評判でまたやりたいという声が多く寄せられました。最後はイルミネーション点灯式に伊藤学長にご挨拶いただき、実行委員長の川島さんが「皆が笑顔で楽しむ場にできてよかった」と締めくくりました。毎年の恒例の冬の催しとして定着するといいですね。



番九クリスマスマルシェ風景

当日の様子は下記、東京ケーブルネットワーク作成の映像で見ることができます。

<https://youtu.be/r3QNCbv3GW8?si=w1eAfKI5bwcYFtFx>

能登の里海を守る： 海育実践と地域活性化プロジェクト

代表者：社会情報学部 社会情報学科 環境情報学専攻 教授 細谷 夏実

2011年に、我が国で初めて「能登半島の里海里山」が国連の世界農業遺産に認定されました。私たちのゼミは、能登半島にある穴水町で2015年から活動を始めました。現在は、里海里山保全につながる活動（地元の椿を活かした椿茶の開発等）や、子どもたちに海の大切さや楽しさを伝える海育（うみいく）の活動を行っています。こうした取り組みがきっかけとなり、穴水町と本学は2018年に包括連携協定を締結しました。

【目的】

今年度も、地域みなさんと共に、能登の里海里山保全や地域活性化に関わる活動を行い、さらに広く情報発信することを目指します。

【活動実績】

○能登での地域連携活動

夏にゼミ生と共に能登を訪れ、椿茶製造体験（鹿波椿保存会・楠さん）、牡蠣養殖現場やボラ待ち櫓の見学（松村水産・松村さん、写真右上）、穴水高校の生徒さんたちとの意見交換会、能登ワインや海洋深層水製造施設の見学などの活動を行いました。現場でのお話や、見学・体験は、能登の里海里山の魅力を深く知ると共に、保全に取り組む際の問題などを地域の方と考える貴重な機会となりました。



○大学祭「能登展」での能登の紹介と物産販売

ゼミでは毎年、大学祭で「能登展」を出展しています。今年も能登での活動をポスターで紹介し、椿茶や能登の塩などの物産も販売して、大学祭の来場者に能登の魅力を紹介しました（写真右下）。



【まとめ】

今年度は、現地での取り組みをコロナ前と同様の規模や内容で実施することができました。現地での地域の方たちとの活動を通して、ゼミ生たちも能登の魅力や地域が抱える問題をより深く認識することができ、さらに大学祭で広く情報発信することができたと考えています。

【追記】

令和6年元旦に発生した能登半島地震では、穴水町も甚大な被害を受けました。穴水町を含めた被災地域の一日も早い復興を心からお祈りしています。また、何か少しでもできることを考え、ゼミ生と共に募金などの活動を始めています。

多摩ニュータウン南大沢40年CIプロジェクトと 高齢者と子どもたちのエンパワーメント支援

代表者：社会情報学部 社会情報学科 情報デザイン専攻 教授 炭谷 晃男

1 経緯

2023年に多摩ニュータウンの西部地域の拠点となる南大沢がまちづくり40周年を迎えました。南大沢ならではの資産を活かし、市民と行政が協働で進めるCIのまちづくりが求められている。そこで、まちびらき40年を経過した八王子市南大沢地区の再生プロジェクトに協力しながら、住民の方を支援するプロジェクトに取り組んだ。さらに、子どもプロジェクトとしての寺子屋活動は月に1回程度、八王子市内の小学校施設を借用して小学生のためのサタデースクールを実施するもので継続的に実施した。高齢者プロジェクトとしての高齢者サロン活動にも継続的支援に取り組んだ。

2 プロジェクト

a. 南大沢ポッチャカッププロジェクト

八王子市南大沢は多摩ニュータウンにおける西部地区の中心的地区となっている。そこで当該地区で活動している市民団体である「南大沢コミュニティネットワーク」の団体と協働事業として、ポッチャを通じて地元南大沢の元気づくりと共生社会の実現貢献しようとするものです。

実施日 2月25日(日)

会場 東京都立南大沢学園体育館

参加団体 企業、障害者、高齢者、子どもの4ジャンルの参加団体を公募して、交流戦を行う。最後に、各団体から1名ずつ参加しての、「みんなの交流戦」をおこないたい。



b. 子どもの居場所プロジェクト：寺子屋



多摩キャンパス周辺の八王子市立松木小学校、長池小学校で月に1回程度土曜に学校の教室や体育館を借りて子どもの活動を支援する寺子屋活動を実施している。寺子屋の活動内容としては寺子屋学習教室（漢字検定）、ポッチャ、プログラミングカー、万華鏡教室はじめXmasや正月ゲームなど季節行事も行っている。特に写真のように、ペットボトルロケットを作り打ち上げた。SDGsの学びにつなげた。

c. 高齢者の居場所づくり：高齢者サロン



ポッチャは、老若男女誰でも、障害の有無を超えて楽しめるユニバーサルスポーツとしてポッチャがオリンピックのレガシーとして定着してほしいと願って取り組んでいる。高齢者サロンで障害者と高齢者が一緒になってプレイを楽しむことができた。何気ない風景だが感動を覚えます。ただ、高齢者スマホ教室はできなかったのは残念でした。

里親家庭の子どものピアサポート活動

代表者：人間関係学部 人間福祉学科 准教授 山本 真知子

1. プロジェクトの目的

近年、虐待などさまざまな理由で実の家庭で生活できない子どもたちを家庭で養育する里親やファミリーホームが増加しています。本プロジェクトは、NPO 法人東京養育家庭の会の支部と東京都八王子児童相談所等と連携し、里親やファミリーホームの子どもたちが他の家庭の子どもや学生とのつながりを持つ子どもスペシャルの実施や里親家庭の実子の会を行いました。他の里親家庭の子どもとの関係を作り、相互交流を深めることを子ども側の目的とし、学生にとっては社会的養護の理解、子どもの理解、児童相談所や児童福祉施設とのつながり、他大学生との交流等の学習機会を得ることを目的としています。

2. プロジェクトの概要



9月2日に里親家庭の実子の会を高尾の森わくわくビレッジにて行いました。子どもの参加人数が少なかったため、参加学生は1名でした。当日は小学生の里親家庭の実子と工作や風船等で遊んだり、話し合いを行ったりしました。

また、11月23日には「子どもスペシャル」をNature Factory 東京

町田において行われました。駅から遠方であること、翌日の準備も兼ね、前日から現地に宿泊し実施をしました。学生の参加は大妻女子大学人間福祉学科の山本ゼミ4年生9名、3年生10名が参加しました。子どもスペシャル当日は、幼児・小学生の子どもたち約30名の活動を他大学の学生とともに行いました。1か月前にクマが会場近くに出没したため安全を配慮し、室内でミニ運動会やクラフト作成を行いました。

3. プロジェクトの成果

本プロジェクトを行うことで、普段は学校や住んでいる地域が異なり、交流する機会のない子どもたち同士のつながりができました。また、学生にとっては実際に里親家庭の子どもと接することで、それまでの机上だけの学びのイメージを変えることができ、児童相談所や児童養護施設等の社会福祉専門職との出会いから学ぶことができました。今年度は卒業生も参加し、先輩と後輩のつながりを持つことができました。今後も子どもの意見を取り入れ、関係機関との連携を行いながら、継続して活動していきたいと考えています。

環境と食の調和に着目した健康づくりの推進 ～産官学民連携・中高大連携による取り組み～

代表者：短期大学部 家政科 食物栄養専攻 教授 堀口 美恵子

【目的】

環境（地球環境・体内環境）と食に関連する問題は、持続可能な開発目標（SDGs）に影響を及ぼす重要な要素である。本プロジェクトでは、環境と食の調和に着目した取り組みにより、心身の健康づくりを推進することを目的として活動を行った。

【主な活動内容】

- 1) 「和食：日本人の伝統的な食文化」は SDGs の達成に貢献するという観点から、「大妻和食アカデミー」を本学調理室で実施した。講座（栽培環境と品種の特徴、糠の活用等）、及び、数種の米や考案した食品ロス削減ふりかけの食べ比べを行い、健康的な日本型食生活についても見直す機会とした。
- 2) 食品ロス削減レシピ（規格外として廃棄されてしまう世羅梨やサンチュの粉末、及び、糠、おから等の活用）を考案し、子ども食堂等で提供した。また、それらのレシピを絶滅危惧種のダルマガエルを保護しながら無農薬で栽培する世羅米（ダルマガエル米）のおにぎりの具としても活用し、世界食糧デーに合わせたイベント「おにぎりアクション 2023」に投稿した。また、卒業生が考案したサンチュ粉末を用いた米粉のスコーンについては、「大妻さくら祭り 2024」の小学生講座で提供し、食料資源の有効活用について考えてもらう機会とする。
- 3) 千代田区主催の「アーバニスト@千代田」の一環として、「身体を動かす！一緒に楽しむ！つながる！合同体験会」を本学アリーナで行った。大妻中学高等学校校長夫妻による太極拳と朗読、「千代田区立障害者福祉センター えみふる」によるボッチャ、「上智大学インカレボランティア団体 シャクル」によるウォーキングサッカー、「大妻女子大学食育ボランティアグループ ぴーち」による食育を実施し、区民の健康づくりに寄与することができた。
- 4) 食に関連したエコなクラフト作りを、本学文化祭で行った。衣料品廃棄ゼロを目指す四番町の企業（株式会社 R1000）より提供を受けた廃棄予定の布などを本学で種から育てた藍の葉、ミカンやリンゴの皮、クチナシの実、千代田区の桜の花や実で染色し、世羅町のラベンダーを包むサシェを作成したことは癒しのイベントとして好評であった。



【まとめ】

環境と食の調和に着目した心身の健康づくりを、産官学民連携・中高大連携による取り組みとして推進することができた。また、食を通じて人々の健康と幸福に貢献する栄養士を目指す本専攻の学生が主体的に取り組んだ本プロジェクトにより、学生の学習意欲向上やキャリアデザインにつながることも期待された。

市民と育てる「多摩市立中央図書館」サポートプロジェクト —開館前準備から開館後の市民参加イベントの開催—

代表者：教職総合支援センター 常勤特任教授 深水 浩司

1. プロジェクト概要

多摩市では、2023年7月1日に「多摩市立中央図書館」が開館（新築）した。開館にあたり、申請代表者と図書館サークル Olive（以下、Olive とする。）に対して多摩市立図書館から、開館準備の手伝いや、開館後のイベント、図書館の使い方のヒントなどを頂けないかと要請があり、本プロジェクトは、その要請に応えるものとして企画・立案し実施された。

本プロジェクトは以下の4つのイベントで構成されている。

- (1) 開館準備サポート
- (2) 多摩市立中央図書館ガイドツアー
- (3) 高齢者向け図書館カフェ
- (4) 多摩市立図書館 50 周年記念！ビブリオバトル

2. 各イベント活動実績

- (1) 開館準備サポート（5/14～6月末までの土・日に実施）

開架・閉架書架の資料配架やラベル貼付、データ取得とデータベースへの登録などを実施。当初は、学生（Olive と司書課程受講者）で対応するつもりだったが、大妻多摩中学・高等学校の司書教諭（渡辺氏）の協力もあり、生徒の協力も得られた。大学と中高との連携もでき、今後も図書館を通じた連携は続けるつもりである。サポート作業の様子は、多摩テレビの取材を受け、後日放映された。



- (2) 多摩市立中央図書館ガイドツアー（9/9 リハーサル、9/10 ツアー実施）

Olive サークル員が自ら考えた図書館ガイドツアーを実施（9/10 午後）した。ツアー実施前（午前中）に、司書課程授業でも行っている「和装本作成（和紙と麻糸を使った本）」を行った（講師は申請代表者）。本の作成は参加のお土産としても好評で、ガイドツアーは参加者からの質問も多く寄せられ、新しい図書館利用について貴重な機会を得ることができたとの感想も多くあった。



- (3) 高齢者向け図書館カフェ（10/1 事前研修、10/22・11/5 実施）

昨年に引き続き実施されたこのイベントは、高齢者に読書の機会を設けて頂くだけでなく、読後感想や本や読書について年齢を超えた情報交換ができることで参加者には毎回好評である。今回は、学生が読む指定図書を設けその感想を参加者と学生との間で議論することができた。学生にとっても参加者にとって普段会話をすることが少ない年齢層との議論なので、「新鮮な感覚だった」との感想が寄せられた。

- (4) 多摩市立図書館 50 周年記念！ビブリオバトル（12/7 リハーサル、12/17 実施）

Olive では、毎年、多摩市立図書館においてビブリオバトルを実施しているが、今回は図書館 50 周年記念として市の大きなイベントとしても開催された。バトルの募集は図書館が行ったが、進行予定やバトル時のパワーポイントスライド、抽選道具の用意などほぼすべての準備を Olive が行った。午前の中高生の部、午後の大学生一般の部とも予想以上の参加者があり、進行も順調に行われた。午前のイベント内容は多摩テレビの取材を受け、後日放映された。



大妻嵐山 みつばちプロジェクト



私たちは大妻嵐山中学校・高等学校（埼玉県）でみつばちを飼育しています。みつばちを育てることでみつばちの生態観察、地域の蜜源調査などをおこない、春と秋に採取できるはちみつを販売したり、加工したりして学びと地域貢献を目標としています。



【体験教室】 会場：4階エスカレーターホール

○みつろうキャンドルをつくろう

みつろうを一度溶かして芯を入れて固めれば、あっという間にキャンドルの完成です。

時間：① 10:30～11:10 ② 11:30～12:10

③ 13:30～14:10

各回先着 15 名



【販売・試食】 会場：4階エスカレーターホール

○みつろうキャンドル（販売）

型どりをしたかわいらしいみつろうキャンドルで記念日をお祝いしてみてください。

○みつろうハンドクリーム（販売）

みつろうとホホバオイルだけで作った天然成分 100% の無添加ハンドクリームです。



○「嵐山の秘蜜」（試食）

今回試食していただくのは 11 月に採取できた秋蜜です。糖度は 80%を超えています。9 月に実施した本校の文化祭では 20kg の「嵐山の秘蜜」（春蜜）を完売しました。



「大妻さくら祭り2024」の楽しみ方

「大妻さくら祭り 2024」は子どもから大人まで、体験できるイベントが盛りだくさん。
予約なしでも参加できるイベントがありますので、ぜひお楽しみください。
※イベントの開催時間はタイムテーブルで確認してね。

こんな体験ができるよ！

- F542 教室
要予約「ホテルスタッフから学ぶ、テーブルナプキンのおもてなし講座」 P.13
- 4階エスカレーターホール
予約不要「みつろうキャンドルをつくろう」 P.39
- E452 教室
「特別講座『日本の手仕事を体験しよう!』」 P.17
 - ・各回当日先着 20 人「みそボールをつくろう」
 - ・ **要予約**「水引の基本結び『あわじ結び』を結んでオリジナルポチ袋を作ろう」
 - ・ **要予約**「季節の和菓子をつくろう」
- F432 教室
予約不要「紙コップ工作でエコを考えよう!」 P.20
- 3階エスカレーターホール
要予約「裏千家茶道のお点前披露と体験」 P.18
- F332 教室
要予約「はじめての手話教室」 P.19
- 1階エントランス
予約不要「バルーンアート体験」 P.19
- 1階エントランス (外)
予約不要「ミニトーイングトラクター搭乗体験」 P.15
- 地下 1 階 E055 教室
要予約「JAL 折り紙ヒコーキ教室」 P.14
- 地下 1 階エスカレーターホール
予約不要「マーシャリング体験」 P.15

- 博物館 P.22
予約不要 常設展「大妻コタカ・良馬と大妻学院の歴史」
予約不要 資料解説動画上映「掛軸から見た大妻の教育」

飲食のおすすめ！

- ★ 5 階エスカレーターホール
「焼き立てパン販売」 P.21
KOTAKA KITCHEN (コタカキッチン) 特製のパンを販売します。
- ★ 2 階学生食堂 kotacafé (コタカフェ)
「学食体験特別メニュー提供」 P.21
さくら祭り 2024 向けの特別メニューを提供します。
※ kotacafé では、パネルシアター部による「パネルシアター公演」も実施。お食事しながら楽しめます。
- ★ 1 階コミュニティテラス
「『丘のまち びえい』の魅力発信」 P.12
北海道美瑛町のじゃがいもでつくったホクホクで甘みのある“きたあかりコロッケ”や美瑛小麦を使用したふくらもちもちのパンを販売します。

大妻さくら祭りの記念に、お土産にどうぞ！

- ◆ 4階エスカレーターホール
大妻嵐山みつばちプロジェクトのブースで「みつろうキャンドル・ハンドクリーム販売」を行います。 P.39
- ◆ 2 階エスカレーターホール
Hand Made サークル「belle époque」が手掛ける 1 点物の「手作りアクセサリー販売」です。 P.20

「春休み小学生講座」pick up P.16

「千代田にプラネタリウムがやってきた！ 一春の星座と星ものがたり」

プラネタリウムがない「千代田区」。3月16日(土)限定で、春の星座を楽しめます。ぜひ星空をご鑑賞ください。

「エコなリメイクに挑戦してみよう！」

普段廃棄されてしまうものを活用してアップサイクル。要予約の小学生講座とは別に、午前中は一般の方を対象としたリメイク体験 (**予約不要**) ができます。



学友会 活動の紹介



来場する子どもたちが楽しい気持ちになれるように、「大妻さくら祭り 2024」の装飾を手がけました。

会場でわからないことなどがありましたら、腕章を付けた学友会メンバーにお尋ねください！



装飾準備の様子



学友会について

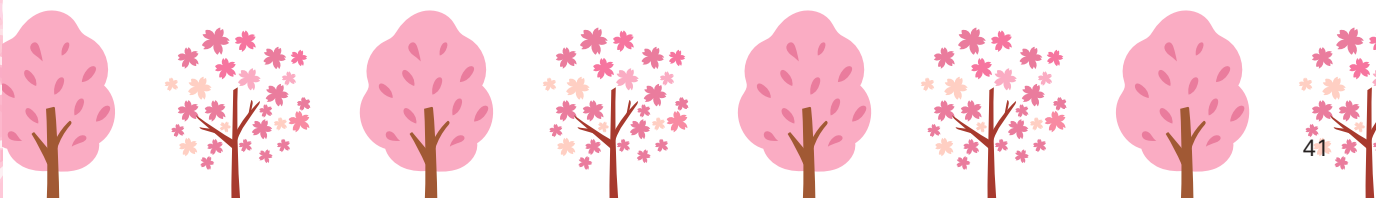
大妻女子大学 千代田校学友会執行部は、全学生が快適でよりよい学生生活を送ることができるよう企画・運営を行っています。令和5年度の大妻祭（文化祭）では学祖である大妻コタカの出身地、世羅町で作られた大妻世羅茶の販売や学友会執行部で作成したグッズを販売し売上金をあしなが育英会へ募金するといったチャリティー活動を行いました。学外では、G7 サミットやエコプロダクツ展への大妻世羅茶の出展も行っています。



大妻祭（文化祭）



G7サミットでの活動





お茶の水女子大学 1年 尾原 愛理彩



鴻巣市立鴻巣南中学校 3年 橋本 芽衣



千代田区立九段小学校 3年 森田 朝子



千代田区立九段小学校 5年 日高 杏理